

平成23年度3次隊壮行会

平成22年12月19日（日）、新宿の居酒屋にサモア人5名を加えて賑やかに行われました。会は大変盛り上がり、サモア人を交えて引き続き2次会まで発展する盛況ぶりでした。集合場所の西口交番前では大塚会長に「私もサモア生活から10年以上経ちました」と声をかけたところ、「私は20年です」と言われてこれはまだ上がいるなと驚いた次第です。



乾杯と自己紹介が終わり宴たけなわとなりました。参加隊員は遠藤謙一、小林祐樹、柳岡覚の諸君でした。今回の派遣7名の内4名は関西、九州方面出身なので不参加でした。

会はまるで海外での実務演習のようで、3人とも、適応性に富んでおり、すぐサモアの仲間に溶け込みました。理恵子さんのお母さん、丸山富美枝様も加わりサモアの話に楽しいひと時を過ごしました。



それにしても、サモアを離れて何年たっても、参加者全員に変らぬサモアへの熱い思いを感じました。近いうち、機会があればミッションを組んでサモア訪問をしてもいいなと思いました。まあ、故郷へ帰るような気持ちですね。話題は2時間では語りつくせない位、たくさんありましたが、中でも「サモアン・ウインク」は面白く、懐かしく思い出しました。サモア人の前で小生が実演したら爆笑でした。H22年のOB会ではグローバルフェスタ、ラグビー、いろいろなイベントで仲間が集まりましたが、「年末の締め」としてふさわしい楽しい集まりでした。

【H9SV 業務調整 影山洵）



頑張れ日本！
頑張れ東北！



Manuia



第11号会報発行に当たって

このたびの東北地方太平洋沖地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様、またそのご家族の方々に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

さて、本年度も皆様方のご協力の下、様々な活動を行うことが出来ました。その総括として本会報発行を迎えられたこと心より嬉しく思いますとともに多くの方々にご協力を頂きましたこと御礼申し上げます。本年度の活動においては、昨年度以上に駐日サモア大使館やサモアコミュニティーとの間で協力し合うことが出来たと思います。そしてこの協力関係が年々より太く、強くなってきていることを実感します。来年度はその関係をベースにさらにパワーアップした活動が出来ればと思います。今後とも宜しくご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

【S63-3 SE 大塚一雄】

サモア大使館クリスマスパーティー

クリスマスまであと1週間とせまったある日、突然大使が“24日に大使館でクリスマスパーティするからよろしくっ”と。え?! よろしくって何? 24日に人は来ませんよ。と思いつつ、お客様リストを作成、連絡、食事、飲み物等の注文に追われました。とふと気が付いたのですが、大使館にはお皿やグラスがない! 大慌てでアクルで注文。せっかくお皿を大量に購入したのに大使は“おすしとナッツとお酒だけでよい”、などとおっしゃるではありませんか! “せっかくお越し頂いて、それだけでは絶対にだめです。”と大使を説き伏せて、ケンタやピザも注文。こうなったらやるしかないと土壇場でようやく心を決め、速攻で大使館のレンタルプラントにクリスマスの飾りつけをして、お越しになる皆様のために、20年ぶりにケーキも焼きました。



さて、当日、予想に反して、50名以上の方々にお越し頂きました! 大使の人望の厚さをリスペクトしつつ、



みんな誰かと特にクリスマスを祝わないのね。と独り者の私は正直ちょっと安心しました。あまりの盛況ぶりにふと気が付いたら、大使がバーテンダーと化していたりもしましたが、なかなか皆様に楽しんで頂けたようで、大使も私も非常に嬉しいクリスマスとなりました。お越し頂いた皆様、そしてお手伝いを頂いた方々ありがとうございました。JOCVサモアOBの清水さんのサモアダンスには目を奪われました。JOCVサモアOBの方々の計り知れないパワーを垣間見た思いがしました。

次回は“今年もクリスマスパーティやりますか?”と早々と大使に確認し、多くのサモア関係者の方々にお越し頂けるようにしたいと思っております。

【サモア独立国大使館 松本伊代】

尾上保子(H21-1 環境教育)

配属先：天然資源環境省 廃棄物課 タファイガタ埋立地
活動内容：配属先同僚と小学校へ出前授業に出かけたり、ペットボトルを用いたクリスマスツリー作りやテウイラ祭でのクリーンアップキャンペーンなどを通して、ごみに関する環境教育を行ってきました。そのほかにも、配属先の埋立地にあるコンポスト施設でコンポスト作りに



挑戦していましたが、機械が壊れて実施を断念。とても残念でした。現在は最近環境教育に目覚め始めたカウンターパートと共に、埋立地見学ツアーの企画・資金集めなどを行っています。私の任期もあと5カ月。これが最後の仕事になるかと思えます。なかなか仕事が進まないですが、サモアのペースでのんびり楽しく仕事をしています。

サモアの感想：職場の同僚は全員とてもいい人で、本当によかったと思っています。大した仕事はできていませんが、私が元気で笑っていたら喜んでくれる人達です。こんな私でもたまに役に立てることもあり、そんな時、とても喜んでくれるのが私の大きな喜びです。その他にも、同じ村の友達や、バスで知り合った友達など、気軽に話しかけてくれる人達の笑顔や優しさに心温まることがたくさんあります。お金はなくても家族がいて、友達

がいて、みんなを気遣って生活しているサモア人。いつまでも大切にしたいです。その他：任期中、皆さんもご存じの地震・津波の被害がありました。サモアに来てから3カ月目という早い時期でもあり、私にとっては忘れられない経験でした。添付の写真は、津波被災地で去年行った環境教育プロジェクトの様子です。被災直後のクリスマスにも、活動内容で紹介したペットボトルクリスマスツリーイベントをAleipataで行いました。そして、「1年たったけど覚えていないよ」という気持ちで去年もまた小学校に行かせて頂いたというわけです。あと5カ月、帰りたいような、帰りたいくないようなという気持ちで一杯です。がんばりまーす！

特集

今回の企画は一献を傾けながらサモアの話をしていた際に壮行会で送りだしたもののその後、サモアでどのような活動を行っているのか、そして元気なのかなどの話があり、それではということでは今まさにサモアで活動を行っているJOCV・SVの方々を紹介する"特集"を組むことになりました。正直、サモアに対する辛口コメントなどないかなど心配しましたが、取り越し苦労だったようです。また写真も送っていただきましたが衣装を見るだけでも私が在任していた当時とは随分変わったことが分かります。是非ご覧になって下さい。今回の特集に当たっては現地で活動している木村 竜輔隊員の協力なくしては実現できなかったこと付け加えさせていただくとともにこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。そして皆さん充実した活動と無事のご帰国をお祈り申し上げます。なお、原稿は本年1月時点のものです。

木村 竜輔(H21-2 理数科教師)

配属先：パラウリ中高等学校サバイイ島)

活動内容：2010年度はYear10(中3程度)に、2011年はYear9とYear10に数学を教えています。また、他の学年を担当している先生のサポートをしたり、同僚向けに指導法改善等のアドバイスもしています。今年度はクラス数増加と教員数減少で今年度は週に25コマ近く持つことになったのでかなり大変そうです・・・。学校活動の他には、教育省とともに進

めている基礎教育理数科改善プロジェクトに携わっており、理数科教育関連のSV・JVと連携して現地教員を巻き込んだワークショップや模擬試験の実施、教材作成などを行ない、現地教員の指導力&知識向上に取り組んでいます。サモアの感想：2009年のサモア沖大地震&津波の前夜にサモアに赴任したのですが、到着翌朝の惨事に大変ビックリしました。とんでもないタイミングで赴任したことを今でも鮮明に覚えています。サモアに来る前はサラリーマンで多忙な日々を送っていましたが、サモアで毎日のんびりとした生活をしていると、時間がゆったりと流れていていいなあと思います。(仕事ではそれが問題になって困ることも多いのですが・・・)現職参加なので帰国直後に日本社会に無事復帰できるか今から心配です。残り半年ちょっとですが、早く日本に帰りたいような、もう少しサモアに残りたいような・・・正直なんとも複雑な気持ちです。OBの方々が帰国してサモアは本当にいい国だというのが、こちらに来てみるとよく分かりました。また、私がサモアにいる間に多くのOBの方が遊びに来ていたのも印象的でした。きっと私も10年以内にまた遊びに来ることでしょう！

小池 瑞穂(H21-2 小学校教諭)

配属先：ヴァイメア小学校(アピア市内)

活動内容：2010年度前半は、全学年の体育、高学年の音楽を担当しました。2010年後半からYear6・7の算数・理科を担当し、2010年に至っています。Year7からすべての教科が英語での学習となりますが、同僚サモア人教師の協力(サモア語への通訳)なしには授業が進みません。自分自身の英語力不足から、児童にわかりやすい説明ができないことに申し訳なさを感じながらも、



私だからこそできることもあるのではないかと開き直って教壇に立っています。サモアっ子パワーにより実験道具が壊れることもしばしばですが、子どもたちの明るい笑顔に「ま、いっかー」と思わされてしまいます。きれいな海と澄んだ空、涼しい風、あたたかい人々に囲まれてハッピーな時間を過ごしています。サモア生活も残り3分の1。サモアのよさをたくさん学んで帰りたいと思います。



比嘉 夏代(H21-3 美術)

配属先：BEN FinArts Academy & Gallery(美術系の訓練学校)

活動内容：新入生を対象にデッサンや絵画、デザインといった基礎美術の授業を行う。また2、3年生に対しては木彫や学校で制作販売しているステンドグラス、メモリアルストーンのデザイン等のアドバイス。学校で観光客向けに売り出せるよう商品制作の助言などが主な活動。1年目は手に入る材料や道具など手探りの状態でいっぱいいっぱいだったが、2年目となる今年は小学生を対象としたクラスを開講しもっとサモアでアートを広めていきたい。

サモアの感想：サモアはとても幸せな国、素敵な国、安全な国。

人は優しいし自然にそって生きてる感じがする。それがたまに理解出来なくてイライラする原因であったり。でもって一番好きなところでもある。サモアにはもっと便利で豊かになってほしいと思う反面今のままでいてくれればと願う自分がある。

その他：サモアで始めたウクレレ。日本にいても習い始めたいとか、本場ハワイで聞いても弾きたいなんて思ったことなかったのに。やっぱり時間がたくさんあるからかな。サモアの皆が音楽好きだから挑発されたんかな。日暮れ前の涼しくなった頃に海を見ながら弾く。最高です。



猪口 諭(H21-4 村落開発普及員)

配属先：サモア農業組合(アピア)

サモア農業組合においてサモア農産物の輸出支援および農産物の生産性向上等の支援・組織運営の活性化にあたっています。また生産者の農場を巡回したり、ワークショップに参加したりしています。

サモアの感想：サモアはまず平和な国ですね。時間の流れが日本とはぜんぜん違い、かなり楽させてもらってます。

その他：サモア農業については、なかなか課題・問題が山積みです。JOCVレベルではなかなか対処できない課題もたくさんありますが、今後の生活の糧になる経験を得られるようがんばりたいと思います。



向井 昌紀(H22-1 理数科教師)

配属先：レファガ中等学校

活動内容：配属先で数学・理科の担当教諭として勤務する一方、サモアの理数科教育向上プロジェクトの一員として教育省や他校の先生方と共に、研究会への参加や統一模試の運営に携わっています。

感想：サモアの温かい気候、人柄に囲まれて、毎日心豊かに過ごしています。現職の教員として、このサモアの素晴らしいところを1つでも多く日本に持って帰ることができたらなと思います。

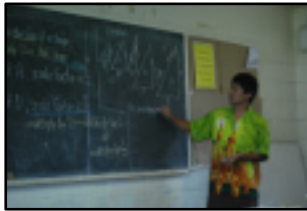


板垣 暁歩(H21-4 理数科教師)

配属先：パララウア中等学校(ウポル島シウム)

活動内容：理数科教師として学校で授業

を担当するほか、SMIPBEというサモア理数科教育プロジェクトにおいてワークショップ等を通して現地人教師の指導力向上のための活動を行っています。サモアの感想：サモアといえば暑い気候！厚い人情！厚い肉体！熱い情熱は無いけれど、笑顔とノリの良さで全部オッケー そんな国です。



衣笠 友弥(H22-1 理数科教師)

配属先：Saga secondary school

活動内容：現在、Year10のScience、Year11のMath、Year12のChemistryを担当しています。今年もTerm1がとうとう始まりました。学校では3月のラグビー大会に向けて、芝生の泥んこグラウンドで練習に励んでいます。

私も3月の大会を楽しみにしています。

また、去年の反省を生かし、学校の教員全体に「遅刻はするな、授業をつぶすな」と強く言っています。

最近、成果が見え始めました。うれしい限りです。そのほかにも問題集の作成を行っており、忙しい限りですが、とても充実しております。



山田 菜穂(H22-2 小学校経論)

配属先：サモア小学校

活動内容：図画工作と体育の授業の実施。配属先は私立の小学校で、公立の小学校とは異なったカリキュラムを組んでいます。サモアでは、まだまだ情操教育が定着しておらず、特に図画工作の学習は私立だからこそ実施できる現状です。

サモア小学校では、二代目のボランティアとして第1学年から第8学年全ての学年の図画工作を受け持っています。授業の実施と平行して、各学年に応じた学習指導内容の指導案作りを行っています。1年後には、教員対象のワークショップの実施やサモアの伝統文化を取り入れた教材作りを行っていきたくと考えています。

サモアの感想：一言でいうと、「Malo」の国。



富永 直美(H22-2 歯科技工士)
配属先 国立病院歯科部門(アピア)

活動内容: 活動が始まって3ヶ月が過ぎたところです。現在は、同僚歯科技工士とともに歯科技工物を製作し、患者に試適、セットをしています。同僚たちへ歯科技工に関するアドバイスも行っています。



サモアの感想: 人がガツガツしてなくて、物乞いなどもあまりいないし、発展途上国らしくないと思います。国全体がのんびりとしていて、それがいいところでもあるのですが、現状に満足しているようで向上心がなくて困ります。

三木大輔(H22-3 自動車整備)

活動場所: プナオアテクニカルセンター

活動内容: 職業訓練センターにて自動車課の生徒に自動車の修理方法、自動車の構造を教える。

松井 恵(H22-3 作業療法士)
配属先: インタレクチャリーハンディキャップ

活動内容: 知的障害児が通う学校でコミュニケーションスキルの向上や日常生活動作能力の向上や社会参加の促進を行っています。



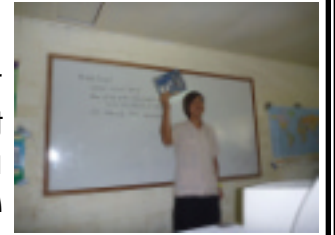
サモアの感想: 犬が多くて狂暴だと感じました。

石川 郁美(H22-3 獣医・衛生)
配属先: Avele Animal Protection Society

その他: 日本では埼玉県動物病院で4年間勤務していました。これから2年間、いろんなことがあると思うし、いろんな方にご迷惑をかけるかとおもいますが、楽しい2年間にできたらいいなと思います。よろしく願います。

加藤 康宏(H22-2 PCインストラクター)
配属先: ウェシリアナ中高等学校(サバイイ)

活動内容: 2011年度よりYear11~13(高1~3程度)に対しコンピュータの授業を受け持っています。また、校内のコンピュータの修理、ネットワーク構築を行ったり、同僚教師に対してコンピュータの使用、修理方法の指導をしたりしています。所属校以外にも赴き、コンピュータの修理、指導方法のアドバイスをしています。今後はワークショップ等を開いて、サモアのコンピュータ教師に対する指導も進めたいと考えています。サモアの感想: 3歩歩けば食べ物の木に当たる、というくらいそこら中に食べ物があります。おかげで他の途上国とは異なり、食事も困るほどの貧困層がないのでは?とにかかく陽気な音楽と、陽気な太陽と、陽気な人々に溢れたとても幸せな国です。その他: サモア人は本当によく昼寝をします。斯くいう僕もよく昼寝をします。サモアにいと午後の昼下がりが、不思議と眠くなります。なぜだ!?



中村 拓郎(H22-2 環境教育)
所属先: Ministry of Natural Resources and Environment

配属先: バイリマボタニカルガーデン

活動内容: 2011年11月より活動を始めました。現在は今後の環境教育活動で使える素材を集めている段階です。国の自然保護区に指定されているバイリマボタニカルガーデンには、気軽に自然散策を楽しむ事ができる遊歩道がある、貴重な場所だと思います。遊歩道はスティーブンソンの墓があるMt. Vaeaに続くため、多くのビジターがウォーキングのため訪れます。そのビジターと学校の生徒を対象とした効果的な環境教育を行う事を目標に頑張りたいと思います。 Mt. Vaeaまでガイド付きのツアーを作る事が現地点での目標です。



サモアの感想: 日本にいる間は山で働く事が多かったため、サモアには海三昧の気持ちで来ましたが、バイリマは山でした。治安は良く安心して歩く事ができるのは良いけど、犬が多く、時に吠えられたり囲まれたりする事がたまに傷。フレンドリーなサモア人と熱帯雨林に囲まれ楽しくやっています。バスのカラフルさと、海の綺麗さには驚きました。その他: 派遣前に男は痩せて女は太ると聞いて安心していましたがどうも順調に成長しているようなので、サモア人化しないように努力が必要かもと思い始めた今日この頃です。

遠藤 謙一(H22-3 作業療法士)

配属先: ロト・タウマファイ・ソサエティ(アピア)

活動内容: 当施設はナショナルホスピタルの向かい側に位置しており、全国に5つある障害児施設の1つとなっています。施設は障害児対象の学校と職業訓練クラス、訪問リハビリがあります。自分はその中でも訪問リハビリ部門において学校に通えない障害児のお宅に訪問しリハビリを中心に行っています。このような訪問リハビリをする施設はサモアにここにしかなく、ウポルとサバイイ合わせて約320名もの障害児をカバーしています。その人数をそれぞれ各3人のフィールドワーカーが2チームに別れ全国を周っているため、1人の障害児に対し関わる時間も少なく、リハビリ物資も不十分な為、適切なサポートが出来ていないのが現状です。それでもサモア中を車で周って人々の生活が見れることや、子どもたちの笑顔が見れるので、とても楽しんで毎日過ごしています。自分はまだ着任して間もないのでこれから少しずつサモアの障害児の生活環境向上に努めて生きたいと思います。



サモアの感想: 今は雨季なので、毎日のように時々激しい雨が降り、予想してた様なトロピカルな海はほとんど見れていません。でもサモアの人とはとてもフレンドリーで、親切な人が多いのでエンジョイしています。

小林 祐輝 (H22-3 理数科教師)

配属先：ファレアタ中高等学校

活動内容：1月6日に派遣されたばかりですが、ファレアタ中高等学校で11年生の理科を教えています。また、学校での活動のほかは同じ理数科のJOCVとともに理数科教育改善プロジェクトに参加しています。しかし、なにぶん来たばかりなので、今は勉強することばかりです。

ここからはベテランシニアの方々です。人生の大先輩と思いつつもあっという間にSV応募年齢にそして見た目も...20数年前のサモアでは殆どシニアの方はいらっしませんでしたが、現在は随分と活動されています。活動内容は様々でしょうが、頂いた文面からは一生懸命さが伺えます(当然のことながらJOCVも頑張っていることは分かりますよ!)。世の中の酸いも甘いもご存じの方々の活動、私もそのうちSVなどと思いつつ興味深く読ませて頂きました。



入江 勝彦 (H21-2 SV 自動車整備)

配属先：ドンボスコ職業訓練校

活動内容：JICAは本校を指導開始して早20年近くになります。日本に比べるべくもありませんが、サモア国内の中堅どころの職業訓練施設としては、これまでのOBの方々のご指導のお陰で、それなりのレベルの教育ができるようになっていきます。

只、現在、これらの改善を計画・実施・評価する場合に必要な過去の記録が少ないため、今回は、教育計画・改善の”見える化”運営を目指し、システム作りに主眼を置いて指導しています。

西田 茂 (H21-4 SV 農場運営管理)

配属先：南太平洋大学 アラファキャンパス 農業試験普及教育研究所 家畜農場

活動内容：赴任先は、大学の試験研究のフィールド、学生の実習農場そして普及活動の拠点の役割がある。農場運営の改善プランの作成と実施。農場の運営を統括すること。それを通じて農場経営の赤字体質を脱却し、運営の健全化を達成することを期待されている。家畜飼養管理技術の改善、農場管理データのコンピューター処理、豚人工授精技術の実証展示と技術移転、農学部学生への畜産学の講義等を計画し実行中。カウンターパートが不在であったが、昨年末農場にマネージャーが配置され、技術知識の移転を図り始めている。

サモアの感想：アピアを中心に西洋文明の影響が浸透する中でも、サモアの伝統と文化が、住み心地のよい社会環境を醸成していると感じています。田舎のアイガの暮らしぶりを垣間見るとき、芋、果実ばかりでなく畜産物も含めた食糧自給を基本とした生活のあり方に感心しています。

杉村 年康 (H21-3 SV 日本語講師)

配属先：サモア国立大学人文学部日本語コース(ウポル島アピア)

活動内容：日本語クラスに登録した学生に初級日本語と日本文化を教えています。一般授業、テスト、課題、学期試験のほか、各種イベントでのコース紹介を行っています。授業では、折紙、書道、ゲーム、浴衣の試着、映画なども取り入れています。また、将来のために学内IOT技術学院で観光日本語も教えています。その他、夜の社会人向けコミュニティー・コースやサモア人日本語講師の育成にも力を注いでいます。私の赴任前に、コース事務室からCD、DVD、図書などの日本語教材が大量に失われるという、教育支援活動上、極めて不名誉で恐ろしい事件が発生しましたが、今は人文学部全体で懸命にコースの修復に当たっています。欧米やオセアニア方面に意識が集中しがちなサモアで、日本文化への理解と二国間の友好が一層深まるように、今後も語学を通じて地道な努力を続けたいと思います。

サモアの感想：人口が少ない島国ながら、一国として成り立っていくためには、大変な努力が必要だと思います。

世界がどんどん変化していく中、サモアも日本も島国で互いに参考になるような要素がたくさんあると思います。友好を深め学びあひながら、いつまでもサモア人のおおらかで、朗らかな性格を失わず、世界から注目されるオンリーワンの国になってほしいと思います。



中川 恵子 (H22-2 SV 臨床検査技師)

配属先 ナショナルヘルスサービス TTM病院 検査部門

活動内容 検査室マネージャーの管理運営のお手伝いをしています。検査室の職員30名で、病院の医師から検査依頼された検体(尿、便、血液など)の生化学検査(肝機能など)や血液検査(赤血球数など)、細菌検査(細菌を培養・感受性など)などを行っています。検査結果は病気の診断を助け、治療の経過や病気の予後を知ることにも出来ます。サモア国立病院の検査分野の改善は、とても重要なことと感じています。

サモアの感想 サイクロンの豪雨に驚きました。水は豊かですが、断水や水道管破裂等経験して、水の管理は大変なことだと感じます。アピアの街の冠水は地形によるものかもしれませんが、雨期はいつも冠水しているのかと思うとサモアの人達は我慢強いなあ・・というのが感想です。バエア山に時々登りますが、サモアの緑豊かな山々はとても好きです。病院は誰でも行きたくない所ですが、何か機会がありましたら検査室にお立ち寄りください。



鈴木 國昭 (H22-2 SV 電機・電子機器)

配属先：ドンボスコ・テクニカルセンター

活動内容：上記センターは4年制の職業訓練校であり、電気・電子科、自動車整備科、金属加工科、配管加工科、木工科など5つの専門課程を持っています。私は2010年11月に同校の電気・電子科へ配属されましたが、目下は現状把握に殆どの時間を費やしています。同校には、既に先輩のJICA・SVが自動車整備科に配属されており、当初より同SVから説明を受けることが出来ました。お陰でとても助かっています。電気・電子科が行っている授業は、テレビ、CDコンポのような大規模電子回路を内蔵した家電製品の修理技術を主体としています。電気の基礎や低・高圧電気の応用に関する教育は全く行われておらず、同校を卒業した生徒の就職進路が広がらない原因の一つとなっています。わたしの活動はこれを改善することと目標を定めて、今後の2年間を組み立てていきたいと思っています。

サモアの感想：サモアには独自文化があり、人々は伝統を誇りとし、大事にしていることがことごとく感じられます。ドンボスコ・テクニカルセンターの伝統にはサモアダンスとボートレースがあります。先日サモアで行われた柔道チャンピオンシップの前夜祭では、同校のサモアダンスが披露され、これを見る機会を得ました。木製ドラムの響きに合わせ生徒全員の息があったダンスは、とても勇壮で見事でした。サモアで行われる代表的なイベントでは披露されることがあるようです。また国の祭りであるテウイラ祭で行われるボートレースでは、度々優勝し、国を代表して隣のアメリカン・サモアまで学校総出で国対抗レースに遠征しているようです。今年は、私もこの遠征に是非、応援参加をしたいと思っています。サモアの美しく素晴らしい海、美味しいフルーツ、人なつこい素朴な人々など、純粋なサモアとの様々な交流は、この国の人達の役に立つ何かを残して行きたいという気持ちを興させます。



川又 一美 (H22-2 SV 自動車整備)

配属先：国立サモア大学技術学院

活動内容：2010年10月に赴任、11月より学校に行き始めましたが今期の授業は終了していて、一般の車両を修理する実技訓練が2年生を中心として行われていました。約一ヶ月半、コメントしながら作業を見ていましたが、皆素直で一生懸命作業していました。2年生は卒業し2月から新入生と新2年生の授業が始まります。

サモアの感想：海が綺麗で果物が豊富で美味しい。人々は親切で陽気である、体格は皆大柄でのんびりしている割には器用である。バス・タクシーが異常に多い、運転マナーは比較的良いが、スピーカーを増設したりして大きな音を出している車が多い。虫と犬が多い事を除けば治安も比較的良く住みやすい国だと思います。



中柴 洋 (H22-2 SV 電子工学講師) 配属先：サモア国立大学技術学院

活動内容：配属先は、高校卒業レベルの学生に対し2年間の技術教育・訓練を行うサモア唯一の技術系高等職業訓練校です。私はサモア人講師とともに、ラジオ・電子工学科の学生に電子工学の基礎を教えています。学校には数年前日本からの無償資金協力で導入された実験、測定装置がありながら、教える側のリソース不足から殆ど使われておりません。これら資産を有効活用し出来るだけ生徒に実験実習の機会を持たせるような授業をすべく活動中です。

サモアの感想：長年経験していた電子工学を若い人に教える機会を持つつもりでサモアに来ましたので大きな不満、問題はありません。単身赴任ですので食事に関しなるべく手間・時間・金を掛けなくて満足出来る方法を模索中です。

高田 輝明 (H22短期SV 冷凍機器・空調)

配属先：天然資源環境省 (ウポル島)

活動内容：サモアには次第に多くのビルが建ち、これに伴い、空調機の需要が大きくなっている。しかし、小さな国の悩みである法体系が完全ではなく、現在空調機に関し、技術、法的レベルが認定された作業者がいない。この空調機は高電圧(240V, 415V)、高圧ガス(約30kg/cm²G)を使用しているため、取り扱いを間違えると大きな事故につながる。また実際に空調機を使用するエンドユーザーの事故に繋がることがある。この為、早期にこの認定制度を立ち上げるべく、現在サモア冷凍技術協会、天然資源環境省の協力のもと、制度に必要な規格立案、関係省庁への承認作業などを実施中です。



サモアの感想：気候は日本とは比較できないほど恵まれています。すなわち、年間通じて24から32度であり、しかも夜間は空調機の運転が不要な温度になる。これは海洋性気候の典型的なものです。

また、マタイ制度のお陰で治安が良いのも他の国に無い特徴です。道路を歩いていれば通行人より“あなたはどこへ行くのですか？”と聞かれ、非常にフレンドリーです。時には“どこかで一度会った人か？”と、考えることもあり、困るぐらいです。

その他：サモアの良いところは人口が少ないところですが、逆にこれが弱点になっています。即ち、特定分野における技術レベルがどうしても低くなります。この為、新規案件を提示すると手を出そうとする人が殆どいません。面倒くさい、時間が掛かる、自分には直接利益が無い、と判断すると特に手を出しません。自分の職域でもなかなか手をだしません。この辺がまだ開発途上と考えています。

グローバルフェスタ2010

「グローバルフェスタ2010」が10月2日（土）・3日（日）と東京日比谷公園で開催されました。場所はいつもの噴水近くです。そこで繰り広げられる一場面を紹介します。

「ヒャッ!!クエーン! ヒャッ!!クエーン!」
パワフルな声に引き付けられるのが、サモアブースのパンケケ。素敵なサモアの女性たちが、お客さんをお呼びこんでいきます。

「ちょっとそこのお友達!! \ (^ ^ *) (* ^ ^) /」
振りむいたあなたは、パンケケを食べる運命に。

お友達：「これなんですか?」

サモアン：「パンケケ。ドーナツよ。おいしいよ。」

お友達：「1つください。」

サモアン：「熱いから気を付けてね。」

お友達：「おいしいですね ^ ^」

サモアン：「ありがとうございます。お友達。」



パンケケを食べたらみんなお友達です。素敵なサモアの女性たちが、呼びかけて、歌って、踊って | |、にぎやかに盛り上げてくれるので、飛びゆくように売れていきます。天気にも左右されないパワーを持っています。(^ ^*) 今回は、過去最高の売上があったとのことでした。裏のパンケケづくりは大忙しです。生地をスプーンですくって油に落とし入れることを繰り返します。が、慌てると角がでたり、へびになったり、大きすぎたり、、、コロッと丸く揚げられるのはかなり嬉しいことです。規格外のパンケケは、私たちのお腹におさまります。エネルギーをもらってさらに販売・パンケケづくりに励みます。

1年に1度、このフェスタに参加できることは大変うれしいことです。我が子（小学生）の成長にも変化が出てきました。ただパンケケを食べる場ではありません。お手伝いをする、様々な国の人と出会う、世界事情の本物に出会うという学びの場になっています。本での世界が現実の世界とつながって「へーーーーそうなのか。」と納得しています。

私はというと、ここに来るのが楽しみです。新しい人と出会い、新しいサモアを知ることができ、素敵なサモアの方たちとエンジョイできる。夜の会はさらに!! 今回は新隊員の参加がありました。昔のサモアやその熱い思いを知り、未来へつなげるのはこの場でしか体験できないことです。1年に1度の「グローバルフェスタ」へ足を運んでみませんか。

最後に、ご協力いただいたサモアのみなさん、OB・OG諸氏、ボランティアのみなさん、改めて御礼申し上げます。

【H7-1 音楽 豊田雅子】



太平洋諸島フェスタ

【日時】平成22年10月5日（火）午前11～正午

【場所】日本財団ビル2F

10月5日～7日にかけて、ミクロネシア連邦、マーシャル諸島共和国、パラオ共和国、フィジー諸島共和国、パプアニューギニア独立国、サモア独立国の6つの駐日大使館の主催により、「太平洋諸島フェスタ」が開催されました。サモアのブースも出展し、ノニジュースや、ココナッツオイル・石鹸、民芸品などがブースを飾りました。今回は始めて、サモアピュアウォーターが登場し、来場者の興味を誘いました。初日の5日は、サモアOB会からの報告もありましたように、サモア大使館主催によるプロモーションセミナー



が行われ、2009年に起こった津波後の、現在のサモアの状況など、サモアの今を知るための貴重な時間となりました。また、セミナー後には、サモアの留学生等による、ファッションショーとダンスパフォーマンスが約1時間にわたって披露されました。ファッションショーでは、このような特別なイベントでしか見

ることのできない、儀礼の際に着用される伝統衣装、イェトガや、ムルベリの木から作られたタパの衣装をはじめ、おなじみの鮮やかなプレタシ、マヌサモアのユニフォーム、そして優雅なビーチ（又は行水？）ファッションなどを観客の温かい拍手の中、魅力いっぱいに紹介しました。続いて

のダンスショーは、伝統的なアバダンスや、モスキートダンスから、女性による優雅なダンス、そして最後には恒例の大使夫妻を巻き込んだショーなど、多彩なダンスを披露し、彼らの持ち前のエンターテイメント力を思う存分に発揮して、会場は大いに盛り上がりま



した。会場にいる人たちが、一瞬にしてサモアワールドに誘われ、彼らの明るい笑顔と、強さ、そして美しさに魅了されたパフォーマンスタイムとなりました。今回、サモアのセミナー、ブース、そしてショーの中でサモアの人々と直接触れ合うことによって、多くの来場者の方々が、サモアに対する興味、関心、そしてFIAFIA精神を分かち合った、そんなイベントにすることができたのではないかと考えています。【元サモア国立大学留学生 古澤直子】

ラグビー-日本VSサモア熱狂リポート

日時：2010年10月30日（土）

場所：秩父宮ラグビー場

10月30日は、あいにく天気予報がピタリと的中し当日は台風の雨の中、予定通りラグビー日本代表とサモア代表（マヌサモア）の試合が秩父宮ラグビー場で開催された。当初自由席での観戦となるはずが、天候のせいでキャンセルが出たのか、急遽S席へ移動でき、かろうじて屋根の下での観戦。時折強風で雨に打たれる



ものの、雨合羽を着ている限りほぼ体には支障なし。さて、試合前の国歌斉唱ではサモア国歌を何とOB会とも親交が深いアマリとジョシーがデュエットで歌っているのではない

か。2人が歌うことになったいきさつは知れないが、心憎いサプライズである。一方で日本国歌君が代はエイベックスの高杉さと美なる歌手が独唱。台風がたたって3分の2は空席の会場で、それでもなごやかな雰囲気の中、予定通り14時キックオフにてこの親善試合が始まった。ところがマヌサモアは肌寒い気候でエンジンがかかるのに時間を要してか、開始10分もたたぬうちに、あれよあれよと10点も失点。日本代表のペナルティゴールとスクラムトライ+その後のキックによるいきなりの10得点だ。その後はさすがに目を覚ましたか、押して押されての小康状態が続き、結局前半を終えてスコアレスの0対10のまま後半へ折り返すことに。ハーフタイムでは、これまたOB会にも馴染みのある在日サモア婦人フアティノとジョシーそしてその娘たちによるサモアン・ダンスショーがアリーナで繰り広げられた。そして後半が始まって早々、いよいよマヌサモアも相手反則からペナルティゴールを決め、3対10と何とか盛り返すきっかけを作った。つい半年前、サモアの首都アピアで行われた両国の試合では日本が歴史的勝利を果たしたときいている。前半を見る限りでは日本代表

に分があり、どちらかというともマヌサモアを圧倒しているように写った。特にスクラムを組んでからの組織的な攻撃では日本が有利だった。しかし、しばらくするとまたしてもマヌサモアはペナルティゴールから3点を奪って6対10とし、あとトライ一つを奪えば逆転できる射程内に試合を進めた。その直後、日本代表は即座にサモア陣内で反則を勝ち取りペナルティキックの権利を得る。サモアとしてはせつかく点差を縮めた後だけに、このペナルティを奪われたのは痛かった。しかし日本は雨のせいで精度を欠いたのか、このキックを外すのである。角度からしても距離からしても何てことはなかったし、事実、このキックを外したことで、再び流れがサモアに渡ってしまった。そして後半30分、マヌサモアのスクラムハーフ、フォトゥアリイが突進しほぼ中央からのトライ！日本代表も3人がかりでつぶしにかかったが、さすがにこのマヌの重戦車には全く歯がたたなかった。前半・後半通じて約100人で埋め尽くした会場のサモアサポーター陣はこの時とばかりに踊り狂い、興奮の絶頂を迎える。0対10というビハインドを見事にひっくり返したのだ。トライ後のキックも無難に決めたマヌサモアは13対10と逆転し、そのまま後半を逃げ切った。マヌの大逆転勝利に我々は酔いしれた。それとは反対に日本人サポーターたちは静まり返ってしまった。2019年のW杯自国開催に向けて日本代表は多くの課題を残した。そこできちんと結果を残すには少しばかり格上であるサモアはまずしとめておかなければならない相手なのだ。さて、試合後関東に上陸した台風はいよいよ猛威を振るい始めたが、その前に試合を終えることができ、かえってよかったともいえる。



【H6-2 音楽 澤井慶太】

第4回協力隊まつり

まだ肌寒さの残る4月某日。例年通り広尾の「地球ひろ



ば」で協力隊祭りが開催されました。サモアOB会は、入口正面の絶好の場所にテントを構え、いざ商売！と挑みましたが、例年通り人はまばら・・・。

お隣近所の出展者同士、仲良くお互いのお店の商品を買うという、これまた例年通りの状況となっておりました。

とはいえ、ちらほらとやってくる協力隊・SVに興味のある人たちがお店をのぞいてくれる（無理やり呼び込んでるケースも多数）ので、行きたい国ややりたいこと、協力隊への憧れ、行くためのハードルと感じていることなど、いろいろと話を聞きながら、

自分が協力隊に行った頃を思い返しつつ、結論としては「試験は受けてみる。とりあえず行ってみる。答えはそのあと。絶対に後悔はしないから。」と、まったく無責任に、人の人生を惑わ



すかのようなコメントを吐いている、これまた例年通りの私がいたのでした。そんな感じで、多忙を極めるわけではなく、その分一人一人のお客さんと長く話せ、協力隊・SVを目指す人たちが持つ“熱意”を感じることで本イベントも、いいものではないでしょうか。イベント後には、一緒にお店を構えたサモアコミュニティの面々と打ち上げに行ってお開きでした。

PS. 2010年10月をもちまして、サモアOB会の役員から一旦退くことになりました。短い間でしたが役員及びOB会員の皆様には大変お世話になり、感謝しております。2010年11月からはJICAプロジェクト専門家としてソロモン諸島に赴任いたしました。現在家族とともにソロモン諸島で暮らしておりますので、ぜひ遊びにいらして下さい。

【H9-3 測量 金谷祐昭】

平成22年度2次隊壮行会

平成22年10月2日(土)にH22-2次隊の壮行会が行われた。当日は日比谷公園でグローバルフェスタが行われていた関係で多くのOB、及び在日サモア人が参加した。

フェスタではOB会が出展し、パンケケ販売。残り10本からカウントダウンが始まり、最後の1本になった時にちょうど新隊員の加藤さんが現れた。最後の1本は新隊員の胃袋におさまった。絶妙のタイミングで現れるなあ。出発前にパンケケ食べられてよかったね。



今回はJOCV・SV合わせて11名の大所帯。そのうちJOCV4名が参加された。

今回はパンケケ販売を手伝ってくれたサモア人女性も参加。壮行会は長くやっているが多分サモア人の参加は初めてであろう。出発前にサモア人と会って飲むというのは新隊員にとってもいい経験であろう。OBだけでなく、サモア人から色々情報をもらえたようでよかったですね。今後も継続してサモア人が参加してくれるようになるといいなあ。

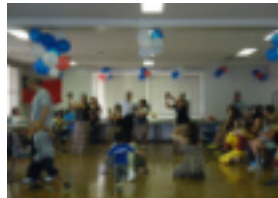
新隊員達は2日後の10月4日にサモアに向けて旅立っていった。今はみなさんサモアに溶け込んで一生懸命活動されていることと思います。2年後是非元気な姿を見せて下さい。

その前にサモアでは是非一度 Vailima を飲み交わしたいですね。(行けるかなあ・・・)

【H6-3&H20SV短期 数学教師 清水幹雄】

BBQ2010 (横須賀米軍基地)

その日は横須賀米軍基地でのBBQということでした。そのため、入場規制も強く、全員が揃って入場しなくてはならないことや、許可証の発行手続き等の理由から、まず全員が揃って横須賀中央駅に集合をしました。内心ドキドキした気持ちでいっぱいの中、向かった横須賀中央駅。駅から基地まで歩いている道のりでは、アメリカ風のバーが立ち並び、ちょっとした海外旅行気分でした。参加人数も多かったこともあり、途中で何人かはぐれてしまったりしながら10数分歩き到着した基地のゲート。



まず、そこで目についたのは、ゲートを警備する軍人さん。「ここは写真撮影禁止です」と基地外の歩道橋から基地の写真を撮ろうとしている人に対し大きな声で一喝。思っていた以上の

厳しさに少しびびってしまいました。そして、入場審査。1時間くらいかかりやっとIDを取得。無事全員が基地に入場。メイン会場に到着する前にへろへろに。ただ、その甲斐もありお腹はペコペコに。BBQに期待を膨らませながら、パーティ会場まで基地内シャトルバスで移動。車窓から見える風景はもう日本ではありませんでした。学校やコンビニ、病院等もあり、そこは日本とは違う海と壁に囲まれた1つの国でした。たどり着いたパーティ会場では、ウラロリ(飴を繋げて作った首飾り)での歓迎。つくづく海外旅行をしているような気分でのBBQ。巨大なポテトに鶏肉・ピザ。久しぶりに見た、歯でビールの栓抜くなどのパフォーマンスにサモアダンスの披露。すっかりお腹いっぱい胸いっぱいになったところで、基地内散策を兼ねてのショッピング。米ドルでの販売。そして、シャトルバスでサモア人のガイド付き基地内一周観光。そこには巨大な戦艦なども。一周して戻ってきて、少し談笑したところで、日も傾き始め解散することになりました。シャトルバスの運行時間が過ぎたため、基地から

の帰りは基地まで乗り込んできているタクシーで駅まで行くことになりました。そこでも不思議な光景を目にしました。入場審査に1時間もかかった自分達に対し、タクシーは簡単に基地の外と中を行き来している様子。どうやら、基地への乗り入れを許可されているタクシーはいくつかの厳しい審査を通った限られた運転手だけとのこと。そう言えば、とても丁寧な対応をしてくれたように思います。今回のBBQでも前回に引き続き色々な思い出を頂きました。次のBBQもとても楽しみです。と言って少しハードルを上げてみました。ぜひ、皆さんも参加してみてください。【H16-3 理数科教師 野口裕作】



平成22年度収支報告

本年度も皆様から会費のご支援ありがとうございました。各種イベントへの参加や会報の作成などの活動を通してサモアの広報および親善活動に有効に資金を使えたかと思っております。今後のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

【S63-3 SE 大塚一雄】

| 収入 | | 支出 | |
|------------|--------|-----------|--------|
| 会費 | 9000 | OB・関係者の通費 | 2910 |
| 事業基金 | 1768 | JOCV会費 | 3000 |
| 個人(印刷費等) | 656 | 個人(印刷費等) | 1062 |
| その他(BBQ会費) | 2000 | 印刷費(会報分) | 19760 |
| - | - | 雑費 | 4121 |
| 小計 | 35294 | 小計 | 42522 |
| 前年度繰入金 | 95249 | 次年度繰入金 | 90714 |
| 合計 | 130543 | 合計 | 130542 |

編集後記

サモアOB会を設立してから何年が経つのだろうか？帰国後まだサモアの記憶が新しい時期だったので、恐らく17～18年近くなるのではないかと思います。試行錯誤を繰り返しながらの活動でしたが、今日迄で活動し続けてこれたのも、皆様のご支援、ご協力の賜物と感謝しております。これからも、帰国されたOBの皆様はもとより、派遣中の隊員、SVの皆様、在日サモア人の方々と協力して、日本国内とサモアのパイプ役として皆様のお役に立てればと思っております。【H61-1 電話交換機 新井克芳】

昨年、人生初の入院生活を経験しました。まさか自分が入院するとは思ってもいなかったので青天の霹靂です。今回の地震もそうですが、本当に人生何が起きるか分かりません。そう言った時に家族・友達の存在は何より心の支えとなり、とても助けられました。私はサモアでそしてOB会を通じて知り合った多くの方々は一生活き合える友達だと思っています。これからも宜しくお願いします。そして今日本は苦しい時期ですが、心を一つにこの困難を乗り越えていきましょう。
頑張れ 日本！ 頑張れ 東北！ 【H63-3 SE 大塚一雄】

ボランティア募集

当OB会のスタイルは堅苦しくない「FaaSamoa（サモア風）」で、集合時間も±30分は誤差の範囲です。知らない顔同士でも年齢が違って、みんな基本的にサモア風なので、すぐになじみます。普段の忙しい日常や仕事を忘れてのんびりできるひとときです。ぜひ顔を出してみてください。多くの方のご参加・ご協力をお待ちしております。

サモアOB会会報は、年一回発行しています。

会報・当OBに関するご意見・ご感想などをお待ちしております。

OB会役員宛メール samoa@fafetai.net

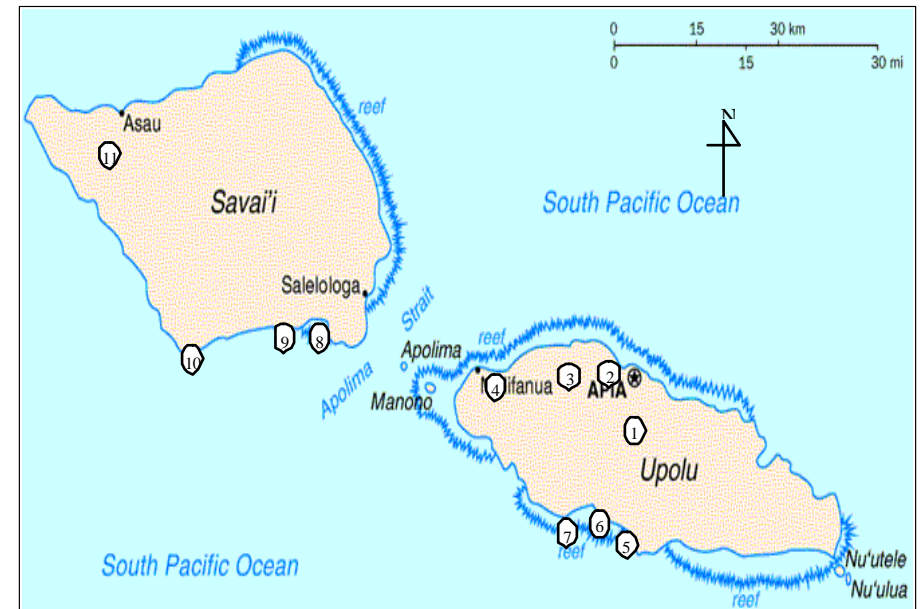
OB会メーリングリスト vailima-fafetai.net@fafetai.net

(事前登録が必要です。)

OB会ウェブサイト： <http://www.fafetai.net/>

サモア国 ボランティア配置図

平成23年2月8日現在



詳細の配置については、次のパスワード「ka ihou1」でOB会ウェブサイトからご覧下さい。